

「令和6年度彦根市男女共同参画センター評価結果」

所管課 企画課

(1) 総合評価は、評価基準の各項目ごとに委員会でA、B、Cの3段階で評価した。

(2) 評価は、以下の3段階とする。

A…優れている

B…概ね適正に行われている

C…改善を要する

(3) 評価結果

No.		基準項目		評価項目		細目		総合評価	
1	市民の平等な利用の確保	1	施設の設置目的および市の管理運営方針	1	施設の設置目的を理解した運営であったか			A	
				2	市が示した管理運営方針と実施内容が合致していたか			A	
		2	平等な利用を図るための具体的な手法およびその効果	1	施設管理や事業内容に偏りはなかったか			A	
2	施設の効用の最大限の発揮	1	利用者の増加を図るための具体的な手法およびその効果	1	年間の広報内容は適切であったか			B	
				2	利用拡大の取組内容は適切であったか			B	
		2	サービスの向上を図るための具体的な手法およびその効果	1	サービス向上のための取組内容は適切であったか			A	
				2	全体的に施設の機能を活用した内容であったか			A	
		3	施設の維持管理内容、適格性および実現の可能性	1	維持管理内容は適切であったか			B	
				2	安全に配慮した維持管理内容であったか			A	
3	管理業務の経費の縮減	1	管理業務経費縮減の実現の可能性	1	管理経費は提案価格よりも縮減となっていたか			B	
				2	使用料収入は、目標を達成できたか			B	
4	管理を安定して行うことができる経営規模や経営能力	1	収支計画の内容、適格性および実現の可能性	1	収支の内訳と事業内容の整合性はあったか			A	
		2	安定的な管理運営が可能となる人的配置	1	職員の確保を含め、職員体制は十分な内容であったか			A	
				2	職員の指導・育成や研修体制は適切であったか			A	
		3	安定的な管理運営が可能となる経済的基盤	1	団体の財務状況は良好であったか			B	
5	適切な事業の取組	1	男女共同参画推進事業の効果的な取組	1	事業は、センターの目的を達成するのに適切な内容であったか			A	
				2	必須事業内容は適切であったか			A	
				3	市民や事業者と協働で取り組む事業内容は適切であったか			A	
評価の理由、コメント			A…12 B…6 C…0						
指定管理者による管理運営については、適正に実施されていた。講座に工夫を凝らし、美文字講座など新規利用者の獲得に取り組まれた点は、利用層の固定化を防ぐ努力として評価できる。また、女性の起業支援についても、よろず支援拠点と連携しながら継続的に取り組まれており、今後の発展が期待される。一方、ひこねかがやきプランⅢとの関連性や市の目標への寄与といった視点に課題が見られ、計画を意識した取組が望まれる。また、アンケート結果を活かした改善や、事業者との協働内容の見える化にも努めていただきたい。									